

平成26年9月1日発行



社協だより



第87号

■天王センター

TEL (018) 878-6538
FAX (018) 878-7127

■昭和センター

TEL (018) 877-5017
FAX (018) 877-4108

■飯田川センター

TEL (018) 877-2627
FAX (018) 854-8251
有線 3028



復興は みんなの 願いです

復興支援バスでエール！

六月二十九日、東日本大震災の被災地に向けて「復興支援バス」が出発し、潟上市より一〇二名の

方々が参加しました。これは買い物などを通して被災地を支援するため、社会福祉協議



潟上市から届けよう！ 三陸鉄道に乗って 復興支援

▷「お土産」をいっぱい手に、買物支援

会が毎年行っているもので、今年で三回目になります。

今年は、復活して間もない三陸鉄道の震災学習列車に乗り、南リアス線始発の釜石駅から終点の盛駅に向かいました。途中、被害のひどかったところでは停車し、三陸鉄道の職員の方から震災当日の状況や、復興状況について説明を受けました。

参加された方からは、「三陸鉄道に乗れてよかった。実際に被災地の状況を見て、あらためて震災当日のことを思い出し、防災について考えることができた」「毎年参加しているが、少しずつだが復興が目に見えて嬉しい。また参加したい」などの感想が聞かれました。

完全な復興までには、まだまだ長い年月がかかります。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

今年は無数のお申し込みをいただいたため、早々と予定参加人数に達してしまい、多くの方々にご迷惑をお掛けいたしました。心からお詫び申し上げます。また来年計画する際は、なるべく多くの方々のご要望にお応えできるよう調整したいと考えております。

「思いやりの心」を育む体験学習

「車いす体験で苦労を実感」



△車いすで路上体験。左右注意して渡りましょう

七月二十八日と八月五日の両日、屋内ゲートボール場 すばーく天王を会場に、「ひとにやさしいまちづくり探検隊」を開催しました。これは車いす利用者との交流や体験学習を通して、「思いやりの心」を育むことを目的に行っているもので、潟上市内の小学五・六年生四十二名が参加しました。

最初は車いすの操作にとまどっていた子供たちも、秋田県車いす連合会の方々から丁寧な指導を受け、上手に介助や操作ができるようになりました。

午後からは実践として外に出かけ、マックスバリュ天王店まで車いすで移動し、買い物体験を行いました。

た。子供たちは「車いす駐車場がどうして普通の駐車場より広いのか分かった」「車いすに乗ったままだと、高いところにある物が取れなくて困った。町で車いすに乗ってる人を見たら、何か困っていないか声をかけてあげたい」などと話していました。

この事業は秋田県車いす連合会、マックスバリュ東北株式会社天王店、他各関係機関よりご協力をいただき、無事開催することが出来ました。ご協力ありがとうございました。

南中生が

地域貢献活動

七月二十二日、天王南中学校の三年生が地域の施設の清掃などのボランティア活動(GPタイム)を行いました。これは毎年行われているもので、今年はお出戸新町ことぶき荘、上出戸分館、牛坂ことぶき荘、追分自治会館、追分西北ことぶき荘、シヨートステイ杉の里の六か所を清掃しました。

地域の方から指導を受けたあと、生徒たちは床や窓、トイレなどを一生懸命掃除し、夏休み前に地域のこ



△畳をふく手にも“力”が入ります



GPタイム

ボランティアスクール

地域の先輩からメッセージ!

八月八日、羽城中学校 視聴覚ホールでボランティアスクールの開催し、潟上市内の中学生百九十人が参加しました。

講師には、羽城中学校の卒業生で、プロバスケットボールチーム秋田ノーザンハピネッツで活躍された菊地勇樹さんをお招きし、「夢をあきらめない」バスケットを通じて学んだことと題し、バスケットボールを通じて得た貴重な経験や、プロ生活を通じてのボランティア体験について講演していただきました。

地元の先輩の講演に、生徒からは活発に質問が飛びだし、自分の将来の夢や、地域活動について考える一日となりました。



△熱心に聞き入る生徒たち

とを考えるとよい一日となりました。生徒からは「日頃お世話になっていた地域の人が喜んでもらえてよかった」。そして、地域の方からは「人が生きていく中で必要な『衣食・住』のひとつ、住むところをきれいにするということはとても大切なこと。また来年来てくれることを楽しみにしています」などと、感謝の言葉をのべていました。

※GP (Good Practice) とはいよいよ実践の意味

明るく生きること ～ボランティア研修～

6月25日、昭和公民館に能代ミュージカルキッズ代表 今立善子さんをお迎えして、ボランティア研修を行いました。

研修の前半では、今立さんに一人芝居を披露していただきました。ユーモラスな清掃員のおばあさんの鋭い独り言に、会場は時に笑い声に包まれ、ひざを打って大笑いしていました。

後半は「明るく生きること」と題し、病気や、それに伴う偏見の目など、今立さんの送ってきた体験を通して、明るく生きることの大切さについて講演していただきました。



△ユーモアの中にも厳しいジョークも

潟上市社会福祉大会のお知らせ

第10回記念大会は11月8日(土)です。詳しい日程については、後日お知らせします。



△にぎわいをみせた“ふれあい交流会”

ふれあい交流会に158名の方々が参加

六月二十三日、二十六日の両日、ふれあい交流会が開催されました。この事業は、七〇才以上の一人暮らしの方々を対象に行われているもので、今年もAコース「天王温泉くらら」と、Bコース「秋田温泉さとみ」の二コースを設定。六月二十三日は、「天王温泉くらら」で、二十六日は、「秋田温泉さとみ」を会場に一五八名の方々が参加しました。各センターの職員が参加者を紹介し、「熱中症の予防」について、対策と注意を喚起しています。ゆっくり昼食を味わってから、ビンゴゲームに挑戦しました。ビン

ゴされた方は、順次、並べられた景品の袋を選択。豪華賞品?を当てようと、悩みながら、そして楽しみながら選んでいました。その後、入浴やカラオケに興じるなど、それぞれ交流を深めていました。カラオケでは、今年も熟年パワーの花を咲かせ、元気いっぱい自慢のどを披露し、大きな拍手をもらっていました。歌った方は、「皆さんの前で歌って、緊張したけど、拍手もらって嬉しかった」。「はじめで参加したども、みんなから元気もらった気がする」など、笑顔がはじけていました。最後は、輪になり恒例の盆踊りで締めくくり、「来年も、また元気で会いましょう」と、約束して散会しました。

三氏が県表彰に!

「第三十三回秋田県身体障害者福祉大会」が七月二十四日、秋田県民会館を会場に開催されました。

この大会は身体障がい者自らその障がい克服し、自立と社会参加に努めた方々を表彰し、併せて生活の安全と福祉向上のために、県民の理解と協力を求めて開催されています。

席上、長年の身体障害者福祉増進の功績を称えられ、菅原道盛さん(昭和天神下)が秋田県知事表彰、鎌田花江さん(飯田川高田)・澁谷靖夫さん(天王二田)が秋田県身体障害者福祉協会会長表彰をそれぞれ受賞いたしました。健康に留意され、今後のご活躍をご期待申し上げます。



澁谷 靖夫さん (天王二田)



鎌田 花江さん (飯田川高田)



菅原 道盛さん (昭和天神下)

